

地域連携・交通部

令和6年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

地域連携・交通部では、「公共交通の確保・充実」「地域の振興」「スポーツの推進」「県南部地域の活性化」に向け、市町等との連携を進めつつ、部局横断的・総合的な視点による地域活性化に取り組んでいます。

令和6年度においては、交通不便地域等における高齢者や若者などの移動手段の確保や、人口減少対策として移住の促進に取り組めます。

また、選手等への支援や指導者の養成とともに、県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組めます。

さらに、7月には熊野古道が世界遺産登録20周年を迎えることから、その好機を逃すことなく伊勢路の魅力のさらなる向上と受入れ環境を整備し、来訪意欲の喚起に取り組めます。

2 主な重点項目

(1) 公共交通の確保・充実

予算額 1, 105, 348千円 [交通政策課 (224-2622)]
[広域交通・リニア推進課 (224-2805)]

鉄道やバスなどの地域公共交通は、自家用車を持たない高齢者の買い物や通院、若者の通学等に必要不可欠な移動手段であり、その維持・確保に向けた取組を推進します。

地域公共交通に関する高齢者等のニーズや地域の実情の把握に努め、交通不便地域等における移動手段の確保に向けた市町等の取組に対し、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援するとともに、地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組む市町を重点的に支援します。

また、交通事業者における深刻な運転士不足をふまえ、運転士募集フェアなど人材確保の取組や市町における一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入に向けた支援を実施します。

さらに、JR関西本線について、沿線自治体や事業者と連携して、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行などの利用促進や利便性の向上に向けた取組を実施するとともに、地域鉄道やバス路線などの維持・活性化に向け、引き続き、国や市町と協働し事業者を支援します。

リニア中央新幹線について、「三重県リニア基本戦略(仮称)」が示す「めざす三重の姿」の実現に向けた具体的な施策や事業への展開を図るため、「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手するとともに、2037年全線開業の実現に向けた活動やリニアに対する一層の機運醸成に取り組めます。

〈主な事業〉

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ① (一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 | (予算額 129,900千円) |
| ② (一部新) 鉄道活性化促進事業 | (予算額 22,940千円) |
| ③ 鉄道利便性・安全性確保等対策事業 | (予算額 151,257千円) |
| ④ 伊勢鉄道基盤強化等対策事業 | (予算額 191,018千円) |
| ⑤ 地方バス路線維持確保事業 | (予算額 345,000千円) |
| ⑥ (一部新) リニア中央新幹線関係費 | (予算額 27,841千円) |

(2) 移住の促進

予算額 130,390千円 [地域づくり推進課 (224-2351)]
[移住促進課 (224-2420)]

「選ばれる三重」となるため、関西圏・中京圏での県独自フェアの開催や全国フェアへの出展等を行うとともに、移住交流ポータルサイトの機能向上やマスメディア、SNSの活用など、市町や企業・団体と連携しながらプロモーションを強化します。

また、きめ細かな相談対応を引き続き行うとともに、転職希望者など新たな層を対象とした移住相談会やセミナーを開催し、相談対応を充実します。

さらに、移住者の不安軽減や県内定着を図るため、市町が実施するお試し住宅の整備や県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用の支援、移住者と地域をつなぐ人材の育成などを行い、移住者を受け入れる態勢の充実に取り組むとともに、東京圏からの移住を後押しする移住支援事業について、引き続き、市町と連携し実施します。

地域おこし協力隊については、定住・定着の促進に向けて、隊員のOB・OGで構成される「三重県地域おこし協力隊ネットワーク」と連携し、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」のそれぞれの段階で隊員や市町をサポートできるよう、支援体制を強化します。

〈主な事業〉

- | | |
|----------------------------|----------------|
| ① (一部新) 移住促進事業 | (予算額 74,032千円) |
| ② (一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 | (予算額 48,020千円) |
| ③ (一部新) 地域おこし協力隊サポート事業 | (予算額 8,338千円) |

(3) 競技スポーツの推進

予算額 1,415,774千円 [スポーツ推進課 (224-2985)]
[競技力向上対策課 (224-2996)]

佐賀国スポ（国民スポーツ大会）に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。また、全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。

県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」水泳場の空調熱源設備改修工事など、必要な改修・修繕を行うとともに、新型コロナウイルスの影響により減少した利用者数の回復を図るため、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

〈主な事業〉

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 競技力向上対策事業 | (予算額 407,000千円) |
| ② 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業 | (予算額 650,665千円) |
| ③ 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業 | (予算額 167,544千円) |

(4) 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

予算額 616,570千円 [スポーツ推進課 (224-2986)]

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて積み上げてきたレガシーを活用して、大規模大会等の誘致・開催や競技種目を定着させるための普及イベント等の実施に取り組む市町および競技団体等を支援します。

スポーツ推進月間（9、10月）のキックオフイベントとして、「みえのスポーツフォーラム」を開催します。また、総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行の促進を図ります。

子どもから高齢者まで幅広い県民の皆さんにさまざまなスポーツの場を提供するため、スポーツ推進月間を中心に、（一社）三重県レクリエーション協会や各競技団体等と連携して「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催します。また、ジュニア世代の発掘・育成や市町相互の交流・連携を図るため、市町等と連携し「第18回美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。

〈主な事業〉

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業 | (予算額 130,000千円) |
| ② (一部新) 地域スポーツ推進事業 | (予算額 61,170千円) |
| ③ 地域スポーツイベント開催事業 | (予算額 16,088千円) |

(5) 南部地域の活性化

予算額 90,427千円 [南部地域振興企画課 (224-2192)]

南部地域の活性化に向けて、地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、兼業や副業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。

また、南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による取組を支援し、地域の人びとが豊かに暮らし続けられる地域づくりを進めます。

〈主な事業〉

- | | | |
|---------------------------------|------|-----------|
| ① 南部地域の企業・魅力体感事業 | (予算額 | 4,107千円) |
| ② 地域づくり人材支援事業 | (予算額 | 4,054千円) |
| ③ (新) 南部の地域づくり連携推進事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 2,250千円) |
| ④ (新) 南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 8,246千円) |
| ⑤ (新) 多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 10,509千円) |
| ⑥ ファンとともに南部地域の観光資源PR事業 | (予算額 | 3,282千円) |
| ⑦ 南部地域活性化基金支援事業 | (予算額 | 11,330千円) |

(6) 東紀州地域の活性化

予算額 240,499千円 [東紀州振興課 (224-2193)]

熊野古道の世界遺産登録20周年を記念し、国際シンポジウムの開催や首都圏をはじめとした都市部でのプロモーション等を行うとともに、古道来訪者のための二次交通の利便性向上に向けた調査、実証運行や宿泊施設等を一元的に案内するWebサイト構築、仮設トイレの設置等により、来訪者が安全快適に歩ける環境を整備し、古道の魅力のさらなる向上と来訪意欲の喚起に取り組みます。

また、奈良県、和歌山県等と連携しながら、東紀州地域への誘客を促進するとともに、観光業および第一次産業を含めた関連産業の振興を図ります。

〈主な事業〉

- | | | |
|---------------------------------------|------|-----------|
| ① (新) 熊野古道世界遺産登録20周年事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度> | (予算額 | 33,677千円) |
| ② (新) 熊野古道伊勢路受入環境整備事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度> | (予算額 | 41,500千円) |
| ③ (一部新) 熊野古道活用促進事業 | (予算額 | 31,955千円) |
| ④ (一部新) Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業 | | |
| | (予算額 | 29,448千円) |
| ⑤ 東紀州地域振興推進事業 | (予算額 | 10,255千円) |
| ⑥ 選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業 | | |
| | (予算額 | 11,259千円) |

公共交通の確保・充実 ① 予算額 1,105,348千円

- 交通不便地域等における高齢者や若者等の移動手段の確保が喫緊の課題であることから、地域のニーズをきめ細かく把握するとともに、市町等における移動サービスの導入・定着などの取組を支援します
- 交通事業者における深刻な運転士不足をふまえ、事業者や市町と連携して運転士確保の取組を支援します

地域内交通

(一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 (129,900千円)

高齢者等の移動ニーズ把握 (9,730千円)

① 地域座談会の開催

- ・ 高齢者等の意見交換を通して地域の実情やニーズをきめ細かく把握
- ・ 市町と連携し、地域の寄り合いの場などを活用して座談会を開催



② 地域の輸送サービスの分析・検討

- ・ 各地域の輸送サービスの現状・課題を把握、対応策を検討 (国・県・市町の課長検討会)
- ・ 県内29市町との交通施策検討会を実施 (自家用有償旅客運送制度など)

移動手段の導入 (100,000千円)

① 移動手段の確保・乗継環境整備への支援

- ・ 市町等の取組を、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援 (1～3か年程度)

1年目：調査+実証事業



2年目：検証+本格運行



3年目：検証+定着



- ② 交通結節点での待合所など乗継環境整備を支援
- ③ 地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組み市町を重点支援

運転士不足への対応 (19,000千円)

① 運転士確保の取組

- ・ 深刻な運転士不足をふまえ、交通事業者と連携して運転士募集フェアなど人材確保の取組を支援
- ・ 一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入の検討、ドライバーの養成などを支援
- ・ 各市町が取り組み自動運転の導入への支援



公共交通の確保・充実 ②

予算額 1,105,348千円

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア推進課 224-2805

- 通勤や通学など日常生活の移動手段である鉄道やバス路線の維持・活性化のため、市町等と連携して利用促進などに取り組むとともに、国や市町と協調して支援します
- リニア中央新幹線の2037年全線開業の実現に向けて関係者と連携して取り組むとともに、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定に着手します

広域交通ネットワーク

（一部新）鉄道活性化促進事業（22,940千円）

○鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施

- JR関西本線（亀山～加茂間）の維持・活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行や沿線市が取り組む駅からの二次交通の充実に向けた実証事業の支援など、利用促進や利便性の向上に向けた取組を実施

鉄道利便性・安全性確保等対策事業（151,257千円）

○鉄道事業者が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国や沿線市町と協調して支援

伊勢鉄道基盤強化等対策事業（191,018千円）

○伊勢鉄道（株）が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援

地方バス路線維持確保事業（345,000千円）

- 地域間幹線系統バスの運行経費等に国と協調して補助を実施
- 県および市町の地域公共交通会議等において地域公共交通の活性化に向けた取組を実施

（一部新）リニア中央新幹線関係費

（27,841千円）

- 「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定及び必要な調査を実施
- 名古屋・大阪間の環境アセスの着実な推進と一日も早い全線開業実現に向けた活動を実施
- リニアを中心とした新たな広域交通ネットワーク構築に向けた機運醸成の取組を実施



時速500kmのスピードでつながる日本の新たな大動脈



令和5年度リニア建設促進
三重県期成同盟会総会

移住の促進

予算額 130,390千円

地域づくり推進課 224-2351
移住促進課 224-2420

- 人口減少対策における社会減対策の1つである移住・人口還流の促進に向けて、移住希望者から「選ばれる三重」となるため、プロモーションの強化を図るほか、新たな層を対象とした相談対応を充実させます
- 住まいの充実に取り組む市町の支援や、地域おこし協力隊の定住・定着促進に向けた支援体制を強化し、移住者を受け入れる態勢を充実させます

移住の促進と定住・定着に向けた取組の充実

(一部新) 移住促進事業 (74,032千円)

プロモーションの強化

- 関西圏・中京圏で県独自の移住フェアを開催
- 新) ごととや地域づくりなど三重ならではの暮らし体験を企業と連携して実施
- 新) 閲覧者が求めている情報を一体的に入手できるよう、ポータルサイトを改修
- マスメディアやSNS等を活用した情報発信
- 三重の人や暮らしとつながるオンラインコミュニティ「日々三重」での交流を促進

相談対応の充実

- 移住相談窓口を中心としたきめ細かな相談対応
- 転職希望者など新たな層を対象とした移住相談会・セミナーを開催



(一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 (48,020千円)

インフラ (住まい) の整備

- 新) お試し住宅の整備に取り組む市町を支援
- 新) 県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用を支援 (県土整備部が実施する既存事業への上乘せ)

受入態勢の充実

- 移住者と地域をつなぐ人材を育成する講座を開催
- 東京圏から移住・就職した人等を対象に、市町と連携して移住支援金を支給

(一部新) 地域おこし協力隊サポート事業 (8,338千円)

定住・定着促進に向けた支援体制強化

- 新) 募集・受入 任用時のミスマッチ解消に向けた市町への伴走支援
- 新) 任期中 隊員間のつながりづくりのための交流会を実施
- 新) 退任後 定住に向けた相談窓口を設置
- 隊員・市町職員向けの研修会を実施



競技スポーツの推進

予算額 1,415,774千円

スポーツ推進局
 スポーツ推進課 224-2985
 競技力向上対策課 224-2996

- 佐賀国スポ（国民スポーツ大会）に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます
- 全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します
- 県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、必要な改修・修繕を行います。また、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組めます

競技力の向上

競技力向上対策事業（407,000千円）

選手・チームの強化

- 育成・強化してきた選手・チームの強化活動を支援
- チームみえ国スポ選手強化事業（177,000千円）
- 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業（12,600千円）

ジュニア・少年選手の発掘・育成

- 国内外の大会での活躍が期待できるジュニア・少年選手の強化活動を支援
- チームみえジュニア育成事業（30,000千円）
- ジュニアクラブ・運動部強化指定事業（4,500千円）

指導者の養成

- 幅広い世代で指導者を養成し、一貫指導体制を構築
- チームみえトップ指導者養成事業（24,810千円）

パラアスリートの強化

- 国際・全国大会で活躍できるパラアスリートの強化活動を支援
- パラリンピック等選手強化指定事業（8,700千円）

本県ゆかりのアスリートの活躍



スポーツ施設の充実

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業 （650,665千円）

- ・ 施設の効率的・効果的な管理運営 391,271千円
- ・ 水泳場の空調熱源設備改修工事など 259,394千円

三重交通G スポーツの杜 伊勢事業 （167,544千円）

- ・ 施設の効率的・効果的な管理運営 102,916千円
- ・ 第二陸上競技場写真判定装置更新など 64,628千円



安全・安心な環境、より良いサービスの提供

地域スポーツと障がい者スポーツの推進

予算額 675,784千円（うちスポーツ推進局分 616,570千円）

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2986

- 大規模大会等の誘致・開催、スポーツイベントの開催等に取り組み市町・競技団体を支援します
- 県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組みます
- **総合型地域スポーツクラブ**について、中学校部活動の地域移行の受け皿の一つとされていることもふまえ、**取組を強化します**
- **障がいの有無に関わらず、身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境づくりや、障がい者スポーツに取り組む機会の充実、選手の発掘や支える人材の養成等に取り組みます**

地域スポーツの推進

レガシーを活用した みえのスポーツ支援事業 (130,000千円)

- ・ 市町・競技団体等が実施する国際大会、全国大会等の大規模大会の開催やスポーツ教室の開催等に必要経費を支援



▲ 国際大会の開催

スポーツによるまちづくり

(一部新) 地域スポーツ推進事業 (61,170千円) 地域スポーツイベント開催事業 (16,088千円)

- ・ 「みえのスポーツフォーラム」、「みえスポーツフェスティバル」、「第18回美し国三重市町対抗駅伝」を開催



▲ みえスポーツフェスティバル ▲ 美し国三重市町対抗駅伝

- ・ 総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行を促進

運動・スポーツにふれ親しむ環境づくり

障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツの裾野の拡大 【子ども・福祉部】 (59,214千円)

- ・ 「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、県民・企業等からの相談対応、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等のニーズのマッチング
- ・ 選手の発掘に向けた初心者講習会、指導員の養成研修の実施
- ・ 競技団体の遠征費の補助 など



▲ 三重県障がい者スポーツ支援センターホームページ

障がい者スポーツの裾野の拡大

南部地域の活性化 予算額 90,427千円

- 「三重県南部地域振興プラン」の3つの取組方向に基づき、南部地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、兼業や副業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます
- 南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による南部地域の活性化に向けた取組を支援します

1. 若者の定着・人口の還流に向けて

南部地域の企業・魅力体感事業 (4,107千円)

- 南部地域外へ進学・就職した若者を対象とした、南部地域の企業見学および地域で活躍している方々との交流バスツアーを実施

地域づくり人材支援事業 (4,054千円)

- 南部地域出身の学生等を対象とした、地域課題（賑わいの創出等）の解決や、地域への愛着の醸成に向けた長期フィールドワークを実施

(新) 南部の地域づくり連携推進事業 (2,250千円)

- 県土整備部と連携し、空き家の非住宅（店舗等）への改修費及び除却費を支援



2. 地域産業の活力向上に向けて

(新) 南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業 (8,246千円)

- 南部地域における副業のしくみづくりのための南部地域の現状および先進事例を調査
- 都市部の飲食店、百貨店のバイヤー等を対象としたツアーを通じて特産品プロモーションを実施



3. 賑わいのある南部地域に向けて

(新) 多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業 (10,509千円)

- 農林水産業や地域の祭りのお手伝いをきっかけにした企業と地域との関係づくり
- 地域で活躍する人びとを対象とした連続講座の開催による地域や世代を超えた人材のネットワークを形成



南部地域活性化 基金支援事業 (11,330千円)

- 田舎暮らし体験、観光促進、出逢い支援、関係人口創出など、南部地域の活性化に寄与する事業に連携して取り組む市町を支援



ファンとともに南部地域の観光資源PR事業 (3,282千円)

- ファンやマニアとともに観光コンテンツの磨き上げを通じて、住民が主体となった地域づくり活動を促進

東紀州地域の活性化～熊野古道世界遺産登録20周年事業～ 予算額 240,499千円

南部地域振興局
東紀州振興課 224-2193

- 熊野古道の世界遺産登録20周年を記念し、国際シンポジウムの開催等を行うとともに、古道来訪者のための二次交通の利便性向上に向けた調査、実証運行や宿泊施設等を一元的に案内するWebサイト構築、仮設トイレの設置等により、来訪者が安全・快適に歩ける環境を整備し、古道の魅力のさらなる向上と来訪意欲の喚起に取り組みます
- 奈良県、和歌山県等と連携しながら、東紀州地域への誘客を促進するとともに、観光業および第一次産業を含めた関連産業の振興を図ります

熊野古道の未来への継承と活用 (218,985千円)

(新) 熊野古道世界遺産登録20周年事業 (33,677千円)

- 熊野古道世界遺産登録20周年を記念し、スペイン・バスク自治州から巡礼道の保全関係者等を招いた国際シンポジウムの開催等を実施

(新) 熊野古道伊勢路受入環境整備事業 (41,500千円)

- 熊野古道伊勢路周辺の宿泊施設等を一元的に案内する英語にも対応したWebサイトを構築、沿道の環境や古道を安全・快適に歩ける環境を整備

(一部新) 熊野古道活用促進事業 (31,955千円)

- 熊野古道伊勢路の世界遺産登録20周年において、「歩き旅」のブランディングを推進するため、伊勢路踏破ウォークの開催や伊勢路の価値や魅力の国内外への発信等により誘客を促進
- 古道を快適に歩けるよう、トイレ等の状況を調査、仮設トイレを設置
- 熊野古道サポーターズクラブの活動や熊野古道一斉クレーンアップ作戦を実施

(一部新) Easy Access to 東紀州！プロジェクト推進事業 (29,448千円)

- 熊野古道への来訪時における二次交通の利便性を向上させるため、運行ルートや手法について調査し、実証運行を実施
- 和歌山県等との広域連携による観光客の受入環境整備や、(一社) 東紀州地域振興公社等と連携して外国人旅行者の誘客促進や体験型コンテンツの造成等を実施

熊野古道伊勢路における拠点滞在型観光の推進

※観光部の拠点滞在型観光推進事業の一部

熊野古道伊勢路における受入環境整備事業 (9,557千円)

- 伊勢路「歩き旅」を促進する取組として、既存の鉄道、バス等の地域公共交通を最大限利用した古道歩きのコースを設定、デモツアーを実施
- 1日で歩けるルート設定、ガイドマップ等の作成、サイト掲載や来訪者が利用できる環境づくりを実施

地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり (21,514千円)

東紀州地域振興推進事業 (10,255千円)

- 市町をはじめとする関係団体と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的に地域づくりを推進する(一社) 東紀州地域振興公社の取組を支援

選ばれる東紀州地域を目標して産業活性化支援事業 (11,259千円)

- 地域の資源を生かした商品のブランド力強化や高付加価値化、販路拡大、観光サービスのブラッシュアップ、観光産業ツアー等の取組や、地域産業の活性化を促進するための基盤づくり等の取組を支援

(熊野古道ルート図)



3 その他の主要事業

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：地域づくり》</p> <p>〈施策名：(9-1)市町との連携による地域活性化〉</p> <p>1 持続可能な地域コミュニティづくり推進事業 2,775 千円 【(9-1-1) 市町との連携・協働による地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用し、住民が主体となった地域のコミュニティづくりがより多くの地域に広がるよう取り組むとともに、将来の担い手となる若者を育てるため、地域づくり団体等において地域活動を体験する機会を提供し、若者が地域づくりの経験を積む取組を進めます。</p> <p>2 市町振興事務費 5,971 千円 【(9-1-2) 市町行財政運営の支援】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 2 市町振興費) 市町が今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方自治制度、地方公務員制度、地方財政制度の適正な運用に加え、公共施設等の適正管理の推進など、行財政運営の改善につながる取組についても必要な支援を行います。</p> <p>3 木曾岬干拓地整備事業 130,657 千円 【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用の方向性の提示に向けて取組を進めるとともに、道路等の基盤整備に向けて関係者との調整を進めます。</p> <p>4 (一部新) 特定振興地域推進事業 30,573 千円 【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 大仏山地域に整備した散策路等を適切に維持管理し利用促進等に取り組めます。また、宮川の流量回復については、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、関係者から要望がある河川環境等について調査を行うとともに、利水者などの関係者や流域市町との意見交換を進めながら、より良い流況に向けて取り組めます。</p>	<p>地域づくり推進課 (224-2351)</p> <p>市町行財政課 (224-2171)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2419)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2419)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金 5,000 千円 【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。</p>	<p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2419)</p>
<p>6 (一部新) 地域活性化支援事業 3,281 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 過疎地域等の市町が実施する住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域活性化のための取組に対し補助金を交付します。また、過疎地域等において、市町職員や集落支援員が住民主体の持続可能な地域づくりの手法を学ぶ研修や、地域課題解決に向けたアドバイザー派遣を実施します。</p>	<p>地域づくり推進課 (224-2351)</p>
<p>7 離島航路船舶新造事業補助金 38,500 千円 【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 離島住民の生活基盤の安定化と離島の自立的発展を促すため、離島航路事業者に対し、新船建造費の一部を補助し離島航路の維持確保を図ります。</p>	<p>南部地域振興企画課 (224-2192)</p>
<p>〈施策名：(9-3)南部地域の活性化〉</p>	
<p>1 (一部新) 南部地域活性化基金積立金 45,201 千円 【(9-3-1) 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 南部地域の振興に向け、複数市町が連携して取り組む事業を支援するとともに、関係部局と連携した若者の定着等に資する事業を実施するため、基金に積み立てを行います。</p>	<p>南部地域振興企画課 (224-2192)</p>
<p>〈施策名：(9-4)東紀州地域の活性化〉</p>	
<p>1 東紀州地域集客交流推進事業 78,080 千円 【(9-4-2) 熊野古道の未来への継承と活用】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費) 熊野古道センターにおいて、熊野古道をはじめとした東紀州地域の歴史・文化、自然等を地域内外に発信するとともに、集客交流を促進します。また、常設展示のリニューアルに向けて、設計を行います。</p>	<p>東紀州振興課 (224-2193)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：交通・暮らしの基盤》</p> <p>〈施策名：(11-2)公共交通の確保・充実〉</p> <p>1 地域交通体系整備基金積立金 216,960 千円 【(11-2-1) 地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費) 伊勢鉄道株式会社の施設整備に活用する「三重県地域交通体系整備基金」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急的に令和2年度から令和4年度までの経営支援に活用していることから、その支援金額分を基金に積み直します。</p> <p>2 航空関係費 19,651 千円 【(11-2-2) リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に向けた取組の推進】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費) 「中部国際空港利用促進協議会」や「関西国際空港全体構想促進協議会」の活動を通じ、両空港の利用促進に取り組むとともに、中部国際空港の大規模補修を行うための代替滑走路早期整備に向けた取組を支援します。</p> <p>〈施策名：(11-4)水の安定供給と土地の適正な利用〉</p> <p>1 工業用水道事業会計出資金 304,927 千円 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 県勢振興のために確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。</p> <p>2 地籍調査費負担金 296,560 千円 (484,737 千円 ※R5年度2月補正予算含みベース) 【(11-4-2) 適正な土地の利用および管理】 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費) 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。</p>	<p>交通政策課 (224-2622)</p> <p>広域交通・リニア推進課 (224-2805)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2010)</p> <p>水資源・地域プロジェクト課 (224-2010)</p>

政策名、施策名および事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：文化・スポーツ》</p> <p>〈施策名：(16-2)競技スポーツの推進〉</p> <p>1 国民スポーツ大会派遣事業 117,623 千円 【(16-2-1) 競技力の向上】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費) 国民スポーツ大会および東海ブロック大会に、本県代表選手・監督等を派遣します。</p> <p>2 ドリームオーシャンスタジアム事業 27,571 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、老朽化したグラウンド整備機器を更新し、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。</p> <p>3 県営ライフル射撃場事業 24,366 千円 【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】 (第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費) 指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、多機能トイレ整備工事など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。</p> <p>《民主的かつ公正中立な行政運営（行政委員会）》</p> <p>1 明るい選挙推進費 6,890 千円 【適正な選挙の管理執行】 (第2款 総務費 第7項 選挙費 2 選挙啓発費) 全体投票率と比較して低い傾向にある若者に選挙を身近に感じてもらうため、小学生から大学生等の各年代に向けた選挙啓発リーフレットを新たに作成し、配布するなど、若者の投票率向上に向けた取組を行います。</p>	<p>競技力向上対策課 (224-2996)</p> <p>スポーツ推進課 (224-2985)</p> <p>スポーツ推進課 (224-2985)</p> <p>選挙管理委員会事務局 (224-2172)</p>